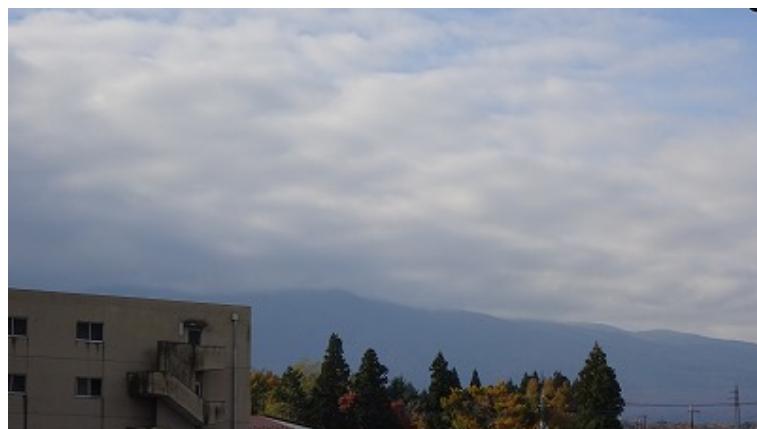


御坂黒岳

2015年11月7日（土）

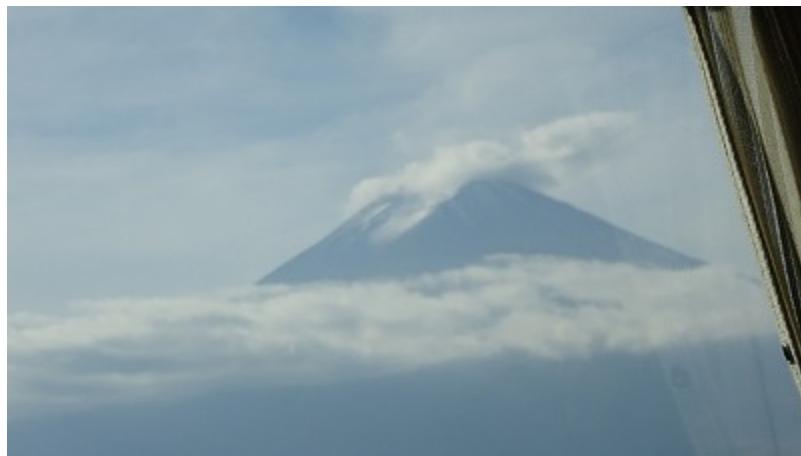
8月15日に御坂黒岳登山を行い三つ峠入口から御坂峠に入り、そこから黒岳へのルートを間違えて山頂を踏まずに下山している。今回はそのリベンジを兼ねて計画し、下図のルートで天下茶屋から入るルートにした。参加者は布目さん、小山さん、吉松さん、高橋雄さん、熊本の5名である。



富士急行の富士山駅（旧富士吉田駅）のホームからは富士山が良く見えるのだが、左写真のように、今日は裾野まで雲にすっかり隠れており、富士山の雄姿は馴目かと諦めていた。



8:43 定刻通り河口湖駅に到着した。上空は青空が広がっており本日の山行に期待が膨らむ。

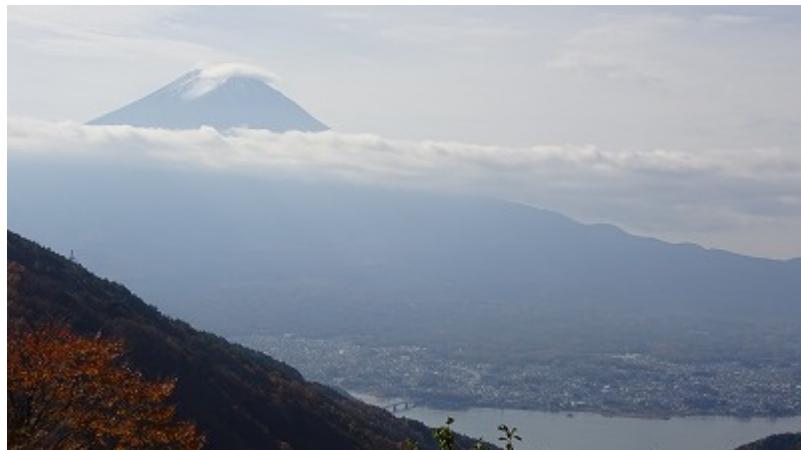


9:00 発の天下茶屋行バスに乗り、河口湖まで下りると、左車窓から富士山の頭が覗いていた。
ラッキー！



9:40 に天下茶屋に到着し、登山準備を始める。

天下茶屋は富士山、河口湖が一望に見渡せ、井伏鱒二や太宰治が長逗留したことでも有名である。



天下茶屋から見た富士山と河口湖



富士山をバックに写真を撮って登山開始 (9:48)



旧御坂峠の標識に従い、階段状の登山道を登る。周囲は紅葉で色づいている。



見頃を迎えた紅葉



登り始めて 5 分すると太宰治の記念碑があり「富士には月見草がよく似合う」の一文が刻まれていた。



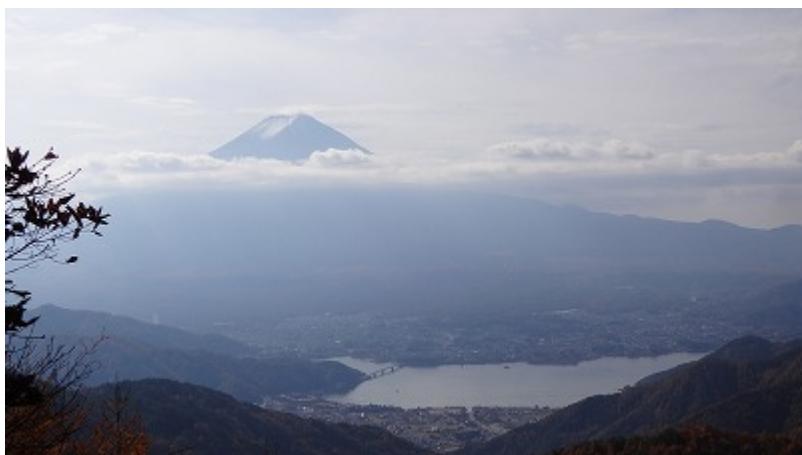
登り始めてのイキナリの急登の連続で息が切れ、暑く汗が流れる。



登り始めて 30 分で旧御坂トンネル上の分岐（御坂山・清八山）の尾根筋に出る。（10:10）ここで小休止



御坂山への登りになる。



終始左手に富士山と河口湖を眺めながらの登りで癒される。



御坂山までは標高差約 150m を稼がね
ばならない。
急登が続く。



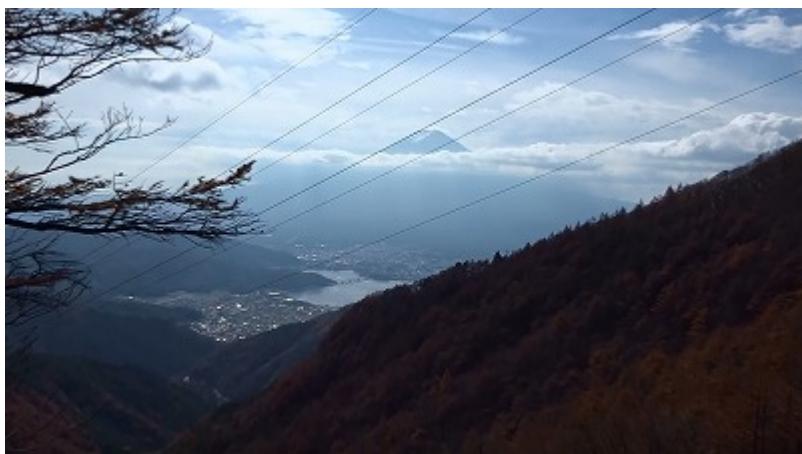
布目さんは暑さに参ったようだ。



10:53 御坂山 (1596m) に到着。天下茶屋から標高約 300m を稼いだ。



御坂山から御坂峠への下り（標高差約 80m）



雲は増えてきたが、まだ富士山は見えていた。



11:25 御坂峠（1521m）に到着。



御坂峠で昼食にする。布目さん、小山さんから沢山の料理を差し入れ、美味しかったです。



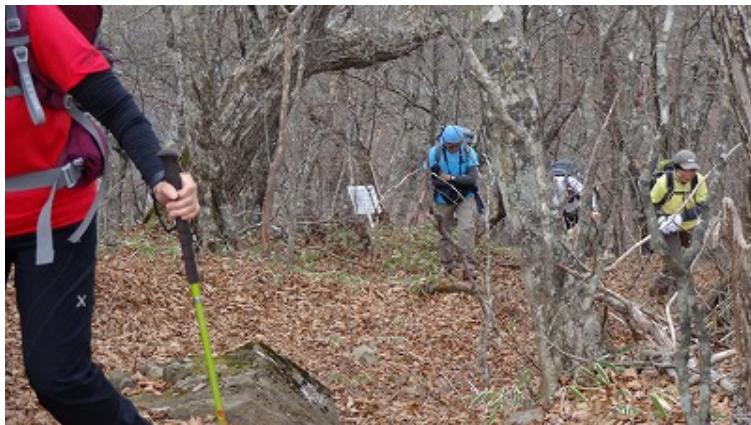
昼食後、記念写真を撮って黒岳山頂に向かう。後、標高差約 250m を稼ぐ必要がある。



前回ここで登山道を間違えて登頂を諦めたが、今回は標識に従い、廃屋の茶屋脇の登山道で山頂に向かう。



廃屋茶屋を少し登ったところに御坂天神の祠があり、安全祈願して更に先へ進む



昼食後で荷物は軽くなったが、体が重くなりシンドイ。

山頂までは4つくらいのピークを越えて累積標高差は400m位の登りがあつたのではないか？

歯を食いしばって最後の登りを詰める



山頂が見えてきて、思わずピース！



12:58 黒岳山頂（1792m）に到着した。



黒岳は山梨 100 名山に名を連ね、山頂には一等三角点があった。



山頂展望台からは直下に河口湖が見えるが、富士山はスッポリと雲の中に閉じこもってしまった。



山頂からの下りは展望台から直接、河口湖へ下るルートにした。このルートはロープがある急斜面の案内書に記載があり、覚悟はしてくださったが、予想をはるかに超えた急斜面だった。





中間点を過ぎ足も棒になり、紅葉が出始めこれで急下りは終わったかと思ったが、更に急下りは続いた





標高差 900m の急斜面で殆どに、ロープが張ってある難所であった。やっと登山口に着き、ヤッター！



登山口は日帰り温泉「天水」の近くであったが、温泉に入る前に見頃を迎えた紅葉散策をすることにした。



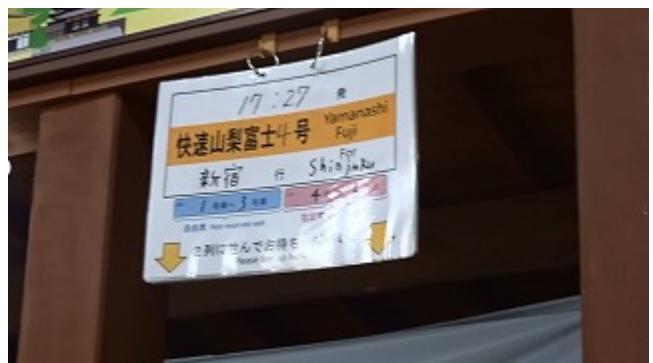




紅葉散策後は野天風呂「天水」で約1時間、入浴休憩し久保田一竹記念館バス亭から河口湖駅に向かいました



もみじ回廊の紅葉祭りの真最中で、夜もライトアップして大勢の観光客で賑わっていました。



17:27 の快速山梨富士 4 号は新宿行の直通電車に乗る



雄さん差し入れの無濾過の生ワイン（勝沼：赤）を飲みながら帰路に着きましたが、藤野で、人身事故があり、大月駅で、約30分待たされました。



今回も締めは、八王子のへぎ蕎麦「凜や」で一杯やって帰りました。

天気に恵まれ、富士山も見られ、下山後は紅葉三昧と申し分なしの一日でした。